

平成 18 年 3 月 17 日

各 位

会 社 名 システム・ロケーション株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 千 村 岳 彦
 (コード番号 2480)
 問い合わせ先 取締役管理部長 橋 本 祐 紀 典
 T E L 03-5226-8771 (代表)

平成 18 年 3 月期の業績予想について

平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日) における当社の通期業績予想は、次のとおりであります。

【連結】

(単位：千円、%)

項 目	決算期	平成 18 年 3 月期 (予想)		平成 17 年 3 月期 (実績)		平成 17 年 9 月中間期 (実績)		
		構成比	前年比		構成比		構成比	
売 上 高		1, 174, 331	100. 0	107. 6	1, 091, 558	100. 0	604, 913	100. 0
営 業 利 益		312, 439	26. 6	136. 4	229, 005	21. 0	176, 132	29. 1
経 常 利 益		318, 204	27. 1	123. 3	258, 061	23. 6	179, 849	29. 7
当 期 純 利 益		170, 865	14. 6	164. 0	104, 177	9. 5	109, 110	18. 0
1 株 当 た り 当 期 純 利 益		148 円 58 銭			1, 602 円 74 銭		1, 678 円 61 銭	

【単体】

項 目 \ 決算期	平成 18 年 3 月期 (予想)			平成 17 年 3 月期 (実績)		平成 17 年 9 月中間期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高	1, 144, 631	100. 0	110. 0	1, 040, 655	100. 0	587, 431	100. 0
営 業 利 益	292, 299	25. 5	137. 5	212, 649	20. 4	166, 463	28. 3
経 常 利 益	295, 301	25. 8	124. 3	237, 508	22. 8	167, 770	28. 6
当 期 純 利 益	158, 412	13. 8	203. 2	77, 946	7. 5	97, 769	16. 6
1 株当たり当期純利益	137 円 75 銭			1, 199 円 17 銭		1, 504 円 13 銭	
1 株 当 り 配 当 金	8 円			80 円		－	

- (注) 1. 平成 17 年 3 月期及び平成 17 年 9 月中間期の 1 株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数 65,000 株により算出し、平成 18 年 3 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、予定期末発行済株式数 1,150,000 株により算出しております。
2. 平成 18 年 3 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益の算出に際し、役員賞与等、普通株主に帰属しない金額は、予想当期純利益より控除していません。
3. 当社は平成 17 年 12 月 2 日付で株式 1 株につき 10 株の株式分割を行っております。そこで、株式会社ジャスダック証券取引所の公開引受責任者宛通知「上場申請のための有価証券報告書」における 1 株当たり指標の遡及修正数値の取扱いについて (平成 16 年 12 月 10 日付 JQ 証 (上審) 16 第 3 号) に基づき、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の 1 株当たりの指標の推移を参考までに掲げると以下のとおりとなります。

平成 17 年 3 月期 (実績)

項 目	決算期	連結通期	単体通期
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)		160 円 27 銭	119 円 91 銭
1 株 当 り 配 当 金 (円)		—	8 円 00 銭

ご注意：この文章は、当社の平成 18 年 3 月期の業績見通しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
 投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書 (ならびに訂正事項分)」をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【平成 18 年 3 月期業績見通しの前提条件】

連結見通し

(a) 全般的な見通し

自動車関連ファイナンス事業者からのリースアップ車両の台数の伸びに沿って、車両再販業務支援での安定的な成長を確保しつつ、新たなシステムサービスの提案により、システム業務支援比率を徐々に高めるとともに、新規事業分野（営業業務支援）の展開に注力し更なる成長を図るべく今後の利益計画を策定しております。

(b) 売上高

車両再販業務支援売上における入札会出品車両台数は、56,000 台（平成 17 年 3 月期比 11.2%増）を見込んで売上見積りを行っております。

システム業務支援売上については、既存顧客からの継続的システム使用料及びシステム開発案件等で約 120,000 千円（平成 17 年 3 月期比約 60%増）の見込みに加え、新規システム開発案件等で約 20,000 千円を見込んで見積もっております。また、新規事業分野である営業業務支援による売上は、車両買取業務支援による買取車両の売却価格の平均単価を 270 千円、取扱台数を平成 18 年 3 月期 50 台と見込んでおります。

(c) 営業利益

車両再販業務支援、システム業務支援に掛かる原価は、平成 17 年 3 月期と同様の売上対比原価率で推移する前提で、営業業務支援原価は、取扱車両の台当たり原価率を約 90%として見込んでおります。販売費及び一般管理費は、平成 17 年 3 月期の売上対比販管費率をベースに、入札会出品台数の伸び率に一定の係数を掛けた伸びとなる前提に見積もっており、これに新規事業分野である営業業務支援の展開にあわせた人員増等も見込み、さらに株式公開準備にかかる費用等必要と考えられる経費額を加算して算出しております。これにより、営業利益としては 312,439 千円（平成 17 年 3 月期比 36.4%増）を見込んでおります。

(d) 経常利益、当期利益

営業外損益、特別損益として特段に見込んでいるものは有りませんので、当期利益としては上記で見込んだ営業利益をベースに算出しております。

以 上

ご注意：この文章は、当社の平成 18 年 3 月期の業績見通しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（ならびに訂正事項分）」をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。